



読書週間

10月27日～11月9日は「読書週間」です。保育園にはたくさんの絵本があります。親子で読みたい絵本を選んだり、本に触れる機会を作ってみましょう。図書館や本屋さんに出かけるのもいいですね。秋の夜長、親子でゆったりと絵本を楽しんでみましょう。絵本が大好きな子どもたちに育てほしいですね。



クラス参観

10月3日(土) 幼児クラス

<ピオトープ観察会と親子で遊ぼう>
親子で大好きな虫の観察をして、ピオトープクイズで楽しめます。親子でのふれあいあそびも計画しています。

時間

- 9時～9時45分 赤組
- 10時～10時45分 黄組
- 11時～11時45分 白組

ミニミニ運動会

10月9日(金) 乳児クラス

子どもたちと一緒に、親子でふれあいながら、からだを動かして楽しみましょう。

時間 16:30～19:30
※お迎えに来られた方から2階ホールにお越しください。職員と一緒にミニミニ運動会を楽しみましょう



応答的環境の大切さ

先日の運動会はあいにくの雨で、体育館で学年ごとに分かれた開催になりました。コロナ感染拡大予防のため、入り口では全員の検温を行い、参加申し込みをされていない方には、住所を書いていただくことになり、お手数をおかけしました。喜楽会の役員の方をはじめ、保護者の皆さんのおかげで、何事もなく無事終了されたことに感謝の気持ちでいっぱいです。いつもと違う新しい形での運動会、各年齢合同で行うオープニングはありませんでしたが、どの年齢も保護者の方に見ただけることが嬉しくて、一生懸命頑張る姿が見られました。親子競技では保護者の皆さんの笑顔も素敵で、親子で触れ合う姿に温かい気持ちになりました。

さて、運動会が終わりましても、子どもたちは今もなお、運動会ごっこで盛り上がっております。ポンポンを持って踊るぱんだ組さん、鳴子を持ち、白組さんの真似っこをして踊る赤組さん、縦割りで混ざってバルーンを持って踊りました。音楽が流れると、自然に踊りが始まり、憧れのポンポンや鳴子を持ち、身体全体で表現する運動会ごっこはまだまだ続きそうです。運動会後たくさんのおたよりをいただきました。コロナ禍でも運動会を開催したことに感謝して下さる内容のものが多かったです。コロナの収束まで、できる限りの対策を取り、今後も楽しい行事を考えていきます。競技中も皆さんマスクをつけ、感染拡大予防にご協力していただき本当にありがとうございました。

9月の中旬に、保幼小連絡会で小学校での参観があり、1、2年生のクラスの授業を見せていただく機会がありました。卒園児たちは元気になっているかな？いすに座って授業が受けられているのかな。わくわくして見せてもらいました。国語の授業ではまだ休憩時間だったのですが、同じ役の子どもたちがグループで集まり、セリフの言い方や、表現の仕方を練習していました。「今日は本番だから、頑張らないと!!」と言っている子もいました。保育園や幼稚園の先生方が来てくれることが嬉しくて張り切っているんだと、こちらまで嬉しくなりました。いざ授業が始まると、生徒は椅子には座らず、広い教室にグループごとに体操座りをしていましたが、先生の話聞く姿勢も良く、



お友だちの発表を聞いてから、良かったところ、気づいたところを発表しあう態度も立派でした。卒園してからまだ半年ですが、子どもたちが意欲的に授業に参加している姿をみて嬉しい気持ちになりました。保育園で豊かなあそびの体験をすること、その中でもお友だちや先生の話聞く力の大切さも感じました。この「聞く力」は赤ちゃんの頃からの大人との応答的環境が大切です。子どもが話しかけてくることに対して、保護者が愛情を込めて応える、または子どもに対して優しく問いかけ、返ってくる子どもの言葉を受け止めるという相互作用のある環境です。家庭において、子どもの問いかけに、面倒だからといって無視したり、子どもが話しているのに途中で口をはさんだり、投げやりな言葉しか返さなかったら、子どもも行き場がなく困ってしまいます。そんなやり取りが続けば子どもから話しかけることが少なくなってしまい、大人が話しかけても聞こうとしない子になってしまいます。

朝の登園時、「はやくしなさい」と、いつも怒られながら来ているお子さんや携帯の動画を見ながら来る乳児さんもおられます。みなさん毎朝お忙しく、いらいらされたり、携帯を見せていれば子どもはおとなしくしているのだと思いますが、その後のお子さんはひどく泣いたり、いらいらしてお友だちに手が出たりということにもなります。また夜遅くまでユーチューブを見ているというお話も聞きます。アニメだけではなく、いろいろな内容のものが入っている為、子どもだけで見ることを心配しています。保育園に通う0歳から6歳の間は人間の土台となる基礎作りをする時期です。保育園では子どもの思いに寄り添い、一人ひとりにあった丁寧な関わりをしています。お忙しいとは思いますがご家庭でもお子さんとしっかり対話を交わし、子どもの声に耳を傾けてあげてください。そして保護者の方の思いも語ってあげてください。子どもと一緒に考える時間を大切に、良いこと悪いことを判断し、自分で考えて行動できる子になって欲しいですね。保育園でも何か問題が起きましたら、子どもと一緒に考える対話の時間を大切に、子どもの心を育て、小学校につなげていければと思っています。

くまの・みらい保育園 園長

おたよりの中から

「運動会でかけっこやリレーがんばったら、アイス1個ね。1番だったらさらにプラス1個ね。と約束していました。とてもがんばって、アイスを2本ゲットしましたよ。」
保育園の行事が終わっていくさみしさとともに、無事に開催されたことを感謝をしてくださいました。心温まるお便りでした。高価なご褒美より、おうちの方にしっかり応援してもらい、褒めてもらうことが、子どもにとってはなによりのご褒美ですね。

あそびはつづくよどこまでも

<サファリランド>



今、黄組さんの廊下の壁には、動物の写真や切っけはられ、道や池や、温泉なども作られ始めています。「今年は親子遠足の動物園いけなかったよね～。動物園みんなで作るのも楽しいかも・・・。」なんだか楽しい計画が広がりはじめています。今後どう展開していくか、お楽しみに・・・。

<温泉>

